

懐アニキャラシリーズ

蟲姦姫2

by
SALTY

蟲にこの体を慰めてもらおう快感を知ってから数ヶ月、
最近の私は蟲姦中毒になりつつあります。

今日はメーヴェエでのパトロール中に体が疼いて疼いて我慢できなかつたので、
大急ぎで帰ってきて、この格好のまま愛液でびっちょりのおマ○コを蟲たちに弄らせます。



「……うふふ♪そんなに急いでがっつかなくても私のおマ○コはどこにも逃げないよ?」
ぷっくりとした乳首におマ○コの柔らかい膣壁、虫たちは人間の女性が持っているピンクの秘肉が大好きです。

「いいーきもちいいーもつと赤ちゃんの部屋の入り回弄って♪」
蟲がヌヌヌとした触手を使い、子宮口をこじ開けようとするたび、私は快感に溺れます。



虫たちにおマ○と汚い穴の中を同時に舐められるのは
たまらないものがあります。

「ふふっ！いいっ！虫ベロク○きもちいいっ！」

あんっ♡

あんっ♡

あんっ♡

あ

うふふふ この虫も赤ちゃんのお部屋が大好きみたいです。
何回も手を子宮に挿入しようとしています。

「きもちいい！赤ちゃんのお部屋の入り口と何回もチュッチュツッきもちいい！」



私のお尻で興奮した蟲は、何度も何度も勃起した子○ポで子宮を突いてきます。

私が何度も絶頂を向かえようと、
そんな事はお構いなしに何度も何度も突いてきます。

「蟲子○ポすてい！奥まで入って・・・またいっっちゃうー！またいっっちゃうー！」

ヒルヒルヒルヒル

ヒルヒル

ヒルヒル

あー

あー

ドビッ

ドビッ

蟲子○ポをおマ○コに突っ込まれ、
こんなに喘いでいる私を風の谷のみんなが見たらなんて思っただろう・・・
うっふ、軽蔑するよね。

蟲好きで有名な娘が、まさかこっちの意味で蟲が好きだなんて・・・
誰もそんな事思っていないだろうし。



私は全身をまさぐってくれてこの蟲が大好きです。

少し乱暴な所もあるけど、やっぱりこの大きな蟲チ○ポはたまらないです。

これでおマ○コを突かれる快感ときたら・・・うふふり

ほあ

ほあ

キヤん

キヤん

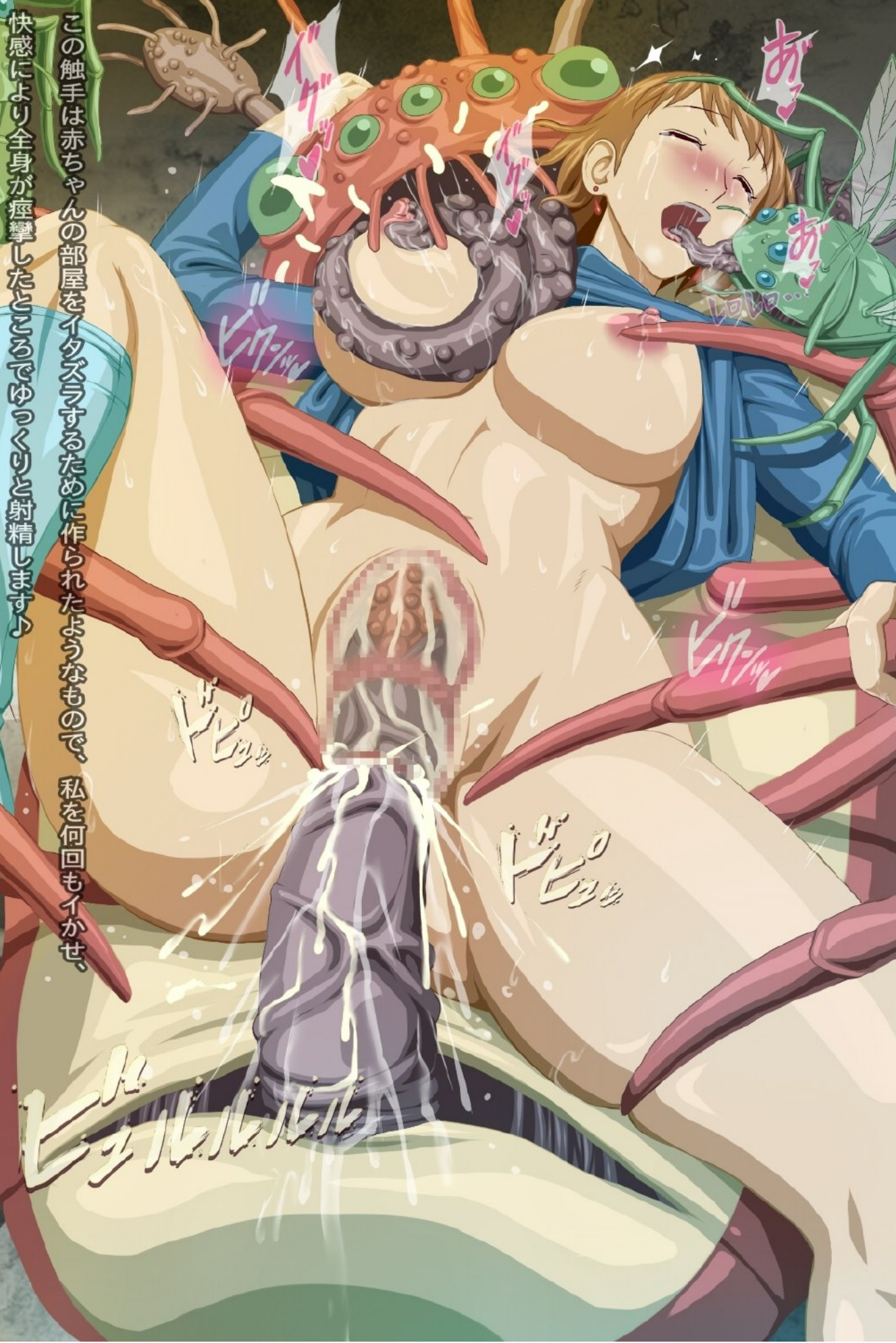
「おっぱい舐めてたら興奮しちゃったのかな？うふふ、チ○ポすごい大きくなってるよ」

「私のおマ○コの方はもっぴちよびちよだよ？はやく蟲チ○ポ欲しいよおっつて言ってる」



うふふ♪このウシバエのチのポは大きくて太いです♪

そして先端から振動するいぼいぼの触手を出し、これが人間の女性の子宮を刺激します。



この触手は赤ちゃんの部屋をイタズラするために作られたようなもので、私を何回もイかせ、快感により全身が痙攣したところまでゆっくりと射精します♪

「ウシバエのチのポも大きいっ！もっと！もっと！もっと！ママのチのポにして♪赤ちゃんのお部屋めちゃうちゃにして♪」

私とペロチュウウをして、こんなにチ○ポをギンギンに勃起させているこの蟲は肉食です。
気性が荒く、全身からは肉食特有のにおいがし、特にこの蟲の口中、舌はものすごい悪臭がします。

うふふ♪でも、そんな悪臭の塊みたいなこの蟲にペロチュウウをされ、おマ○コに蟲チ○ポ突っ込まれるのが私は好きです♪
下手をすれば食べられてしまうという恐怖が私にはたまりません♪
「うふふ♪ いっぱいペロチュウウしたから興奮しちゃったのかな？ チ○ポがもうこんなに大きくなってる♪」



うふふ♪ 私の事をただの性欲処理の肉壺としか考えていない、蟲子○ポでひたすらおマ○コを突きまくる「一方的なプレイ」
たまりません♪

「すごい！すごいのおー！！ 子宮を内側からえぐってくるようなこの蟲子○ポー！！」

この蟲の生殖行為は長時間に及び、時には一日中続く事もあります。

うふふ♪ その間、私は何度も絶頂を向かえ、嗚咽にも似た喘ぎ声と大量の愛液を垂らし続けます。

「こわれちゃうー！ 私、蟲子○ポでこわれちゃうー！！」



うふふ♪ 今日はクシヤナ殿下も一緒に蟲たちに慰めてもらいます♪

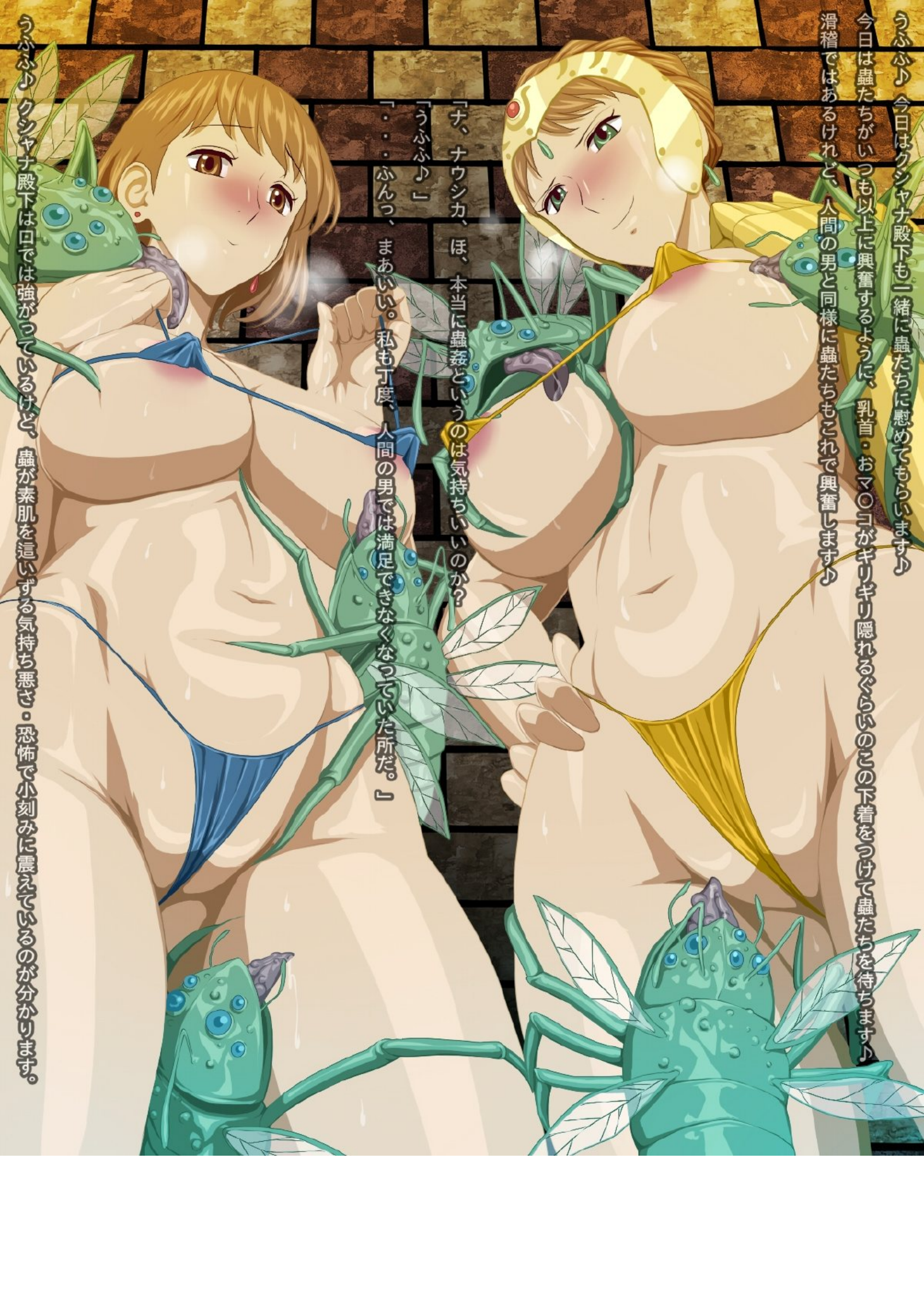
今日は蟲たちがいつも以上に興奮するように、乳首・おマ○コがギリギリ隠れるぐらいの下着をつけて蟲たちを待ちます♪
滑稽ではあるけれど、人間の男と同様に蟲たちもこれで興奮します♪

「ナ、ナウシカ、ほ、本当に蟲姦というのは気持ちいいのか？」

「うふふ♪」

「・・・ふんっ、まあいい。私も丁度、人間の男では満足できなくなっていた所だ。」

うふふ♪クシヤナ殿下は口では強がっているけど、蟲が素肌を這いずる気持ち悪さ・恐怖で小刻みに震えているのが分かります。



蟲たちの前ではいくらピンクの秘肉の部分の部分を隠そうとしても無駄です。

「ち、乳首を舌でヨリヨリ……そ、そんな所に舌を入れるなあつ！」

うふふふ♪ 私が思った通り♪ クシヤナ殿下の体はやつぱり敏感ですよ

「そ、そんな、奥まで……もう立ってられない……」

「あつ……うふふふ♪ 赤ちゃんの部屋に舌入れようとしてる♪」

ぷつくりとした乳首、クリクリス、膣、どれも蟲たちが大好きな人間の女の柔らかいピンクの秘肉の部分。

うふふふ♪ でも一番好きなのは……子宮……赤ちゃんの部屋♪

どの蟲もみんなここに入りたがり、何かを入れるようします。



蟲子○ポをおマ○コにいれられ、蟲へ口に乳首を執拗に弄られ、それでもクシヤナ殿下は氣力だけで立っていました。

うふふふ かくいう私も、何回も子宮の奥まで蟲子○ポを突っ込まれ氣絶寸前でしたけど♪

快感が全身を走り、喘ぐ事も間々ならぬみたい♪

ヒュルルルルルル

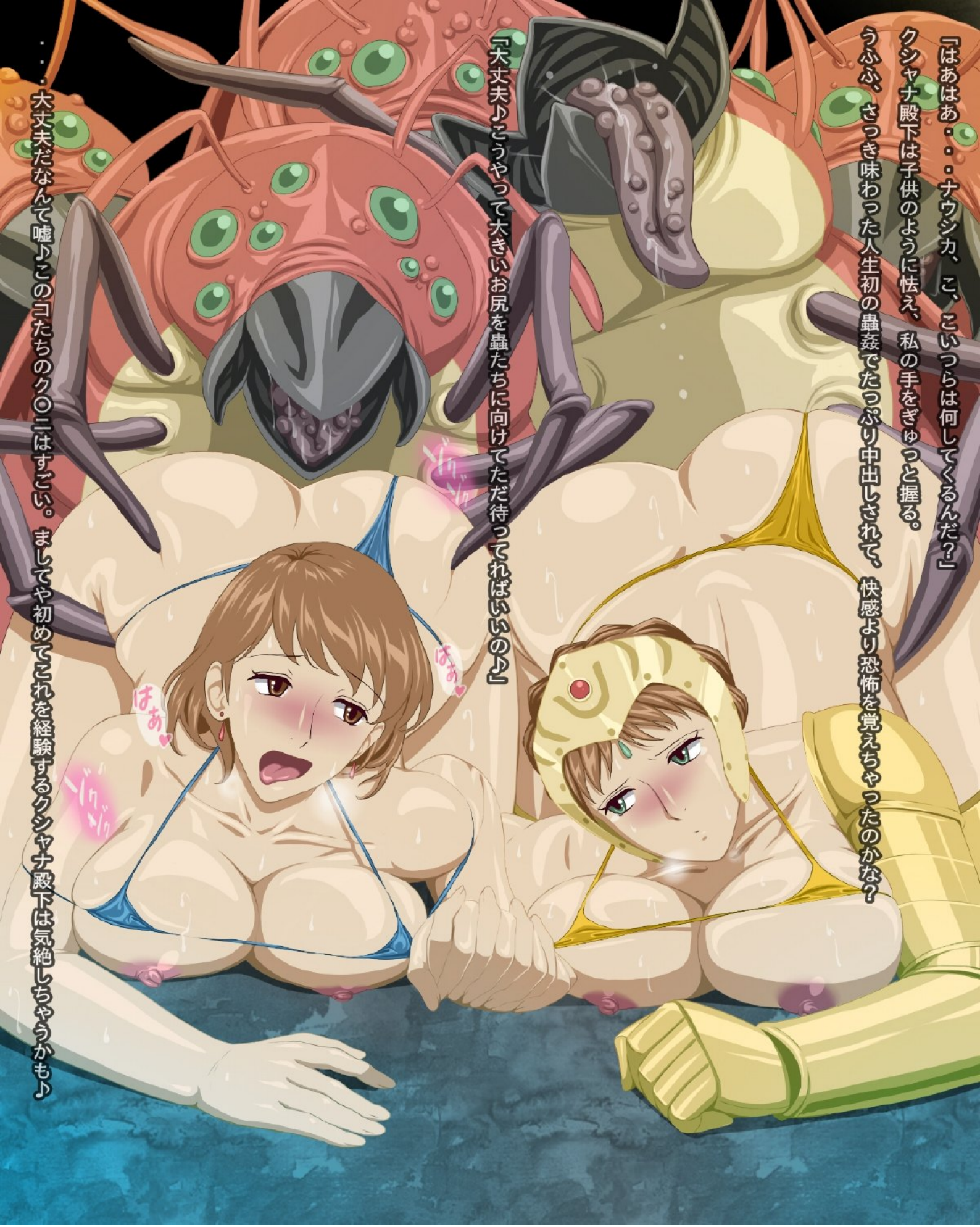


「はあはあ・・・ナウシカ、こ、こいつらは何してくるんだ？」
クシヤナ殿下は子供のように怯え、私の手をぎゅつと握る。

うふふ、さつき味わった人生初の蟲姦でたっぷり中出しされて、快感より恐怖を覚えちゃったのかな？

「大丈夫♪こうやって大きいお尻を蟲たちに向けてただ待ってればいいの♪」

大丈夫だなんて嘘♪このコたちのク○ニはすごい。ましてや初めてこれを経験するクシヤナ殿下は気絶しちゃうかも♪



この蟲たちはまずチ○ポをおマ○コに入れてきますよ
うふふふ 長時間に渡って何回何回もおマ○コの奥の方まで突いてきますよ

そして濃い蟲ザーメンをたっぷりと赤ちゃんの部屋に注入しますよ
その量は子宮、膣だけでは収まりきらず、おマ○コから溢れ出しちゃうよ

「ま、また蟲チ○ポ！ さっき突っ込まれたばかりなのに・・・」
「うふふふ おマ○コがまださっきの蟲チンポで痙攣してるのに、休憩もなしに間髪入れずまた突っ込まれる気分はどう？」



ビュルルルルル

この蟲たちは人間の女のおマ○コ、マン汁が大好物です。その舌を使い膣をかき回し、溢れ出るマン汁を摂取します。

「ナウシカあ、こわれちゃう！私、このままだとこわれちゃう！」

「うふふ♪こんなク○ニ味わった事ないでしょ？今日はいきすぎてこわれるまでたっぷり舐めてもらおう？」

「マン汁の匂いにつられたくさんの蟲たちが集まり、与えられた餌をむさぼるように私たちのおマ○コを奥の方まで舐めまわします。」

「子宮に蟲の舌が入っちゃってる！入っちゃってるよおー！」

「うふふ♪私も赤ちゃんの部屋の入り口を蟲ベロが出たり入ったりしてる♪」

蟲たちが私たちのおマ○コに飽きるまで、何度も何度もク○ニされ、イカされ続けました♪



この蟲たちは人間の女のおマ○コ、マン汁が大好物です。その舌を使い膣をかき回し、溢れ出るマン汁を摂取します。

「ナウシカあ、こわれちゃう！私、このままだとこわれちゃうう！」

「うふふ♪こんなク○ニ味わった事ないでしょ？今日はいきすぎてこわれるまでたっぷり舐めてもらおう？」

「マン汁の匂いにつられたくさんの蟲たちが集まり、与えられた餌をむさぼるように私たちのおマ○コを奥の方まで舐めまわします。」

「子宮に蟲の舌が入っちゃってる！入っちゃってるよおー！」

「うふふ♪私も赤ちゃんの部屋の入り口を蟲ベロが出たり入ったりしてる♪」

蟲たちが私たちのおマ○コに飽きるまで、何度も何度もク○ニされ、イカされ続けました♪



「ナウシカあつー！ なんてこいつら私ばかり・・・」

「うふふりクシヤナ殿下の体が好きみたい」

「もういい！ 蟲には勝てないと分かったから！ もうやめてくれーもうやめて・・・」

あんっ！ 蟲子のポ・・・子宮にまた入っちゃってる・・・」

蟲に買められたっけ、あれほど気高かったクシヤナ殿下が子供のよう泣いています。

うふふりでも体は正直です。

おマ○コからは大量のマン汁を垂らしています

クシヤナ殿下の意志とは反して、その体は蟲姦を喜んでいるようです



「入ってこないでーし、子宮が蟲で・・・動かないでえっ！私おかしくなっちゃうー！」
「うふふふいっばい入ってきたねっ、赤ちゃんの部屋がエッチな蟲でいっばいっ、・・・あつーそんなに動いたら。」



三人とも本来なら人間の胎児が宿る所が蟲でいっばいですっ
中の蟲は何度も子宮口を出入りし、子宮の中で動く度に、
子宮内の敏感な肉壁を触手で舐めまわす度に、
私たちは何度も何度もイキ、何度も何度も絶頂を迎えますっ

うふふ♪ 腹ポテ状態の私たちに欲情したのかな？

チ○ポをギンギンに勃起させながら、ウシバエ三匹が私達に絡み付いて来ました♪

「チ、ナウシカ!! わ、私怖い・・・」
「うふふ、だいじょうぶ。こわくないこわくない。」

ウシバエの勃起したギンギンの蟲チ○ポを見たクシヤナ殿下は子供のようには怯えています。
まだ快楽より恐怖感の方が上なのかな？

うふふ♪ でも、そのわりには乳首を勃起させおマ○コからは愛液を垂らし続けています。



ウシバエにとって子宮の中に蟲がいまが関係ないようです。
ギンギンに勃起したその蟲子〇ポで子宮にいる蟲ごと突いてきますり



「チ〇ポで突かれるたび蟲たちが動いてる！このままだと私こわれちゃう！おかしくなっちゃうー！！」
「蟲が子宮の中はまだいるのに、勃起したギンギンの蟲子〇ポで。。。気持ちいいっ！気持ちいいっ！。。。」
うふふ♪ウシバエにとって、今の私たちは蟲子〇ポを思うままに抜き差しできるただの肉の塊です。

